

## AUN (ASEAN 大学連合) AUN-QA 機関別アセスメントについて

AUN では、ASEAN 地域の高等教育水準の向上に資する質保証メカニズムの構築にむけた取り組みとして、AUN 加盟大学および AUN-QA ネットワークの準加盟大学に対するプログラムアセスメント (AUN-QA Assessment at Programme Level) を 2007 年に開始。これまで 200 以上のプログラムが受審している。

AUN はこれまでの実績を踏まえ、ASEAN 域内の高等教育の質のさらなる向上のため、2017 年より機関別アセスメント (AUN-QA Assessment at Institutional Level) を実施する予定。機関別アセスメントは機関の質保証に関する「戦略性 (Strategic QA)」、「体系性 (Systemic QA)」、「機能性 (Functional QA)」を評価する包括的な枠組みとなっている。これにより、内部質保証システムの有効性を評価し、機関全体の教育・研究・社会貢献活動の向上を図ることを目的としている。機関別アセスメントの基準は 25 基準 111 観点で構成されている。

### ●特 徴

ASEAN 域内の高等教育の質を向上させ、ステークホルダーのニーズを満たすことを目標に、内部質保証システムの有効性を評価し、高等教育機関全体の教育・研究・社会貢献活動の向上を図ることを目的としている。

また、「ASEAN 質保証枠組」(ASEAN Quality Assurance Framework: AQAF)、「欧州高等教育圏における質保証の基準とガイドライン」(Standards and Guidelines for Quality Assurance in the European Higher Education Area: ESG)、「2015-2016 ボルドリッジ・パフォーマンスエクセレンス (教育分野)」(2015-2016 Baldrige Performance Excellence Framework (Education))<sup>1</sup>といった国際的な基準等を踏まえて、国際通用性を担保した質保証の枠組みとすることで、ASEAN 経済共同体の形成を支援し、学生・教員の国際的な流動性や高等教育の国際化を推進していくことを目指している。

### ●アセスメント基準

#### <基準の考え方>

機関別アセスメントは、高等教育機関の質保証に関する「戦略性」(Strategic QA)、「体系性」(Systemic QA)、「機能性」(Functional QA) を評価する包括的な枠組みとなっている。それぞれの領域には、「Strategic QA=機関全体」、「Systemic QA=内部質保証システム」、「Functional QA=教育、研究、社会貢献活動」を評価する基準が設定されている。

これらの基準の下に、PDCA のアプローチに沿って評価の観点が設定されている。以上の3つの領域に加えて、教育・研究・社会貢献活動の成果を評価する基準 (Results) がある。この領域は活動の結果を機関へフィードバックする役割を果たし、継続的な質保証システムの向上およびステーク

<sup>1</sup> 1987年に米国製造業再生の戦略的ガイドラインとして制定された国家品質評価の枠組み。米国商務省所管の The National Institute of Standards and Technology (NIST) が担当しており、ビジネス/公的機関、教育、医療などの評価枠組みがある。

ホルダーの満足度を高めることをめざす。つまり、機関は、教育・研究・社会貢献活動が卓越したものとなるよう、常にベストプラクティスを追求していくことが求められている。

また、AQAF（原則3：内部質保証）の10基準、ESG（第1部：内部質保証に関する基準とガイドライン）の10基準、2015-2016 ボルドリッジ・パフォーマンスエクセレンス（教育分野）の7つの基準領域を踏まえて、国際通用性を担保した基準としている。

#### AUN-QA 機関別アセスメントの基準

基準（2017年施行）		観点数
<b>Strategic QA</b>		
1. Vision, Mission and Culture	ビジョン、使命、特色	5
2. Governance	ガバナンス	4
3. Leadership and Management	リーダーシップと運営体制	4
4. Strategic Management	戦略的運営	4
5. Policies for Education, Research and Service	教育、研究、社会貢献活動の方針	4
6. Human Resources Management	人材開発	7
7. Financial and Physical Resources Management	財務、施設設備の管理	5
8. External Relations and Network	外部との連携活動	4
<b>Systemic QA</b>		
9. Internal Quality Assurance System	内部質保証システム	6
10. Internal and External QA Assessment	自己点検評価と第三者評価	4
11. IQA Information Management	内部質保証に関する情報管理	4
12. Quality Enhancement	質の向上	5
<b>Functional QA</b>		
13. Student Recruitment and Admission	学生の募集と選抜	5
14. Curriculum Design and Review	カリキュラムの設計と検証	5
15. Teaching and Learning	教授と学習	5
16. Student Assessment	学生に対する成績評価	4
17. Student Services and Support	学生支援	4
18. Research Management	研究活動の管理運営	4
19. Intellectual Property Management	知的財産の管理運営	4
20. Research Collaboration and Partnerships	外部との研究連携	4
21. Community Engagement and Service	社会貢献活動	4
<b>Results</b>		
22. Educational Results	教育の成果	4
23. Research Results	研究の成果	6
24. Service Results	社会貢献活動の成果	4
25. Financial and Market Results	財務状況と社会からの評価	2
<b>25 基準</b>		<b>111 観点</b>

## ● 受審条件

申請する高等教育機関は、受審申請時に以下の条件を満たすこととなっている。また、AUN-QA 委員会が最終的な受審の承認をする。

- AUN 加盟大学もしくは AUN-QA ネットワークの準加盟大学<sup>2</sup>であること
- 5 つ以上のプログラムが AUN-QA のアセスメントにより認定を受けており、有効期間内であること
- 機関別アセスメントの認定期間中は、5 つ以上のプログラムの認定も維持すること
- 機関別アセスメントの認定を受けた機関は受審後、中間報告書を AUN-QA 事務局に提出すること

## ● プロセス

①評価チームの編成・評価実施計画の策定、②自己評価書作成、③評価の実施（書面分析、訪問調査）、④評価結果の確定、改善のアクション。

## ● 主要資料

アセスメントの実施方針や基準、評価方法等についてまとめたガイドブック「Guide to AUN-QA Assessment at Institutional Level」が、2017 年の機関別アセスメントの開始に先立ち、2016 年 6 月に刊行されている。AUN-QA 専門家、委員会関係者により作成。ガイドブックの構成は下表のとおりで、総ページ数は 292 ページ。

「Guide to AUN-QA Assessment at Institutional Level」の構成

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. AUN-QA の質保証枠組みの紹介</li><li>2. 各評価基準の詳細説明<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 基準</li><li>▪ チェックリスト</li><li>▪ 趣旨</li><li>▪ 分析のための質問リスト</li><li>▪ 根拠資料</li></ul></li><li>3. アセスメントについて<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 原則、実施体制</li><li>▪ 自己評価書の準備</li><li>▪ アセスメントの準備</li><li>▪ アセスメントのプロセス</li><li>▪ アセスメント報告書（判定の考え方を含む）</li></ul></li><li>4. 付録（チェックリスト、テンプレート、報告書見本等）</li></ol> |
|--|

## ● アセスメント結果の表し方

各基準は 1～7 段階で判定される。（最高の 7 点＝世界水準もしくは先進的な取り組み）

各基準の判定に基づき、領域ごとの段階判定が示される。すべての領域で 4 点以上の場合は AUN-QA のサーティフィケートが与えられる。アセスメント結果の有効期限は 5 年。

また、受審機関は受審の 2 年後に、AUN-QA 事務局に中間報告書を提出することになっている。

<sup>2</sup> AUN-QA ネットワーク準加盟大学とは AUN 加盟大学である 30 大学以外で、一定の条件下で AUN-QA 委員会により承認された大学。現在、準加盟大学は 30 大学以上。詳細は [AUN-QA プログラムアセスメントの概要](#) を参照。

### 各段階の判定の表現

- |   |
|---|
| 1 = Absolutely Inadequate                                   |
| 2 = Inadequate and Improvement is Necessary                 |
| 3 = Inadequate but Minor Improvement Will Make it Adequate  |
| 4 = Adequate as Expected                                    |
| 5 = Better than Adequate                                    |
| 6 = Example of Best Practices                               |
| 7 = Excellent (Example of World-class or Leading Practices) |

#### 【出典】

- ASEAN University Network  
<http://www.aunsec.org/index.php>
- AUN-QA  
<http://www.aun-qa.org/>
- AUN, GUIDE TO AUN-QA ASSESSMENT AT INSTITUTIONAL LEVEL  
[http://aunsec.org/pdf/Guide%20to%20AUNQA%20Assessment%20at%20Institutional%20Level%20Version2.0\\_Final\\_for\\_publishing\\_2016%20\(1\).pdf](http://aunsec.org/pdf/Guide%20to%20AUNQA%20Assessment%20at%20Institutional%20Level%20Version2.0_Final_for_publishing_2016%20(1).pdf)